

記号凡例 ↑高さ ←巾 ↗奥行 ※厚み ⊙直径 ⊕重量 ≠使用材 ★取寄せ扱い品

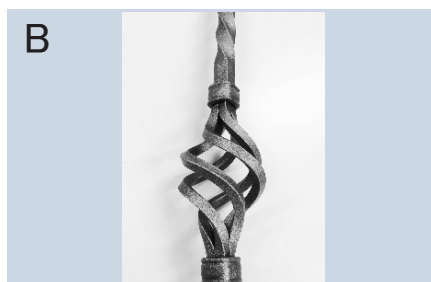
レッキーメタルのパーツについて

レッキーメタルのパーツは2種類の表面形態に分かれます。



A

【黒皮のままのパーツ】
 ※熱間加工時の酸化被膜＝黒皮
 黒灰色に茶色が混じったような不均一な色をしています。
 (主なパーツ:長尺材やヤクモノ、葉・花の一部)



B

【ショット(サンドブラスト)加工のパーツ】
 鈍い金属光沢と細かい砂肌が特徴で、加工後に水性の保護油膜を掛けてあります。
 (主なパーツ:たて子、唐草その他ほとんど)

ショット加工のパーツは以下の下処理をおすすめいたします。

■ 洗浄機による油膜取り

市販の自動車用の高圧洗浄機で洗い流し乾燥してください。油が残っていると溶接時(TGI溶接)にブローホールなどの不具合が出る場合があります。油が乾いて見えにくい場合でも洗浄・乾燥してください。その方法として加熱バーナーで煙がでなくなるまで、油を焼き切ることも効果的です。

■ 焼付塗装前の下処理

鋳鋼製や鋳鉄製商品を使用して組立てたものに焼付塗装をする場合、ピンホールなどの不具合が出ます。焼付塗装前に一度「カラ焼き」をしてもらうと改善されることが多いです。唐草パネルやたて子のいくつかには、鋳鋼製のパーツを含んでいるものもありますので、同様の注意が必要です。

■ 自然乾燥系塗装の下処理

組立後に自然乾燥系の塗装をする場合は、浮きサビをブラシなどで落とし、油性の汚れをシンナー拭きで落としてください。鋳鋼・鋳鉄製のパーツを使用している場合も特別な処理は必要ありません。

■ メッキの場合は不要

屋外使用目的などで、塗装前に下地メッキ(電気亜鉛メッキ、溶融亜鉛メッキなど)をかける場合、上記の下処理はメッキ工場側で行っていただけます。

表面仕上げについて

■ 一般的には塗装で仕上げ

組み立て終わったら「塗装」をして仕上げるのが一般的です。空気中の水分と接触した鉄生地表面にはサビが発生します。そこで、合成樹脂の塗膜をつくり鉄と空気を遮断します。ロートアイアの性質上、焼肌(黒皮)を残したまま塗装することも多く、完璧にサビを防止するのは困難です。塗料自体も次第に劣化しますので、完成後も定期的なメンテナンスと塗替えは必須です。工程としては、まず、微細な凹凸を埋めたり接着効果の高い成分の下塗り塗料を塗り、その後色の付いた上塗り塗装をします。上塗り塗料はお好みの色と何段階かのツヤ具合が調合可能です。ロートアイアらしさをもっとも引き立てる塗色としては「落ち着いたツヤの黒色」が定番です。

■ 溶融亜鉛メッキ

屋外での使用を前提としたものには、塗装前に「溶融亜鉛メッキ」をかけるのを勧めます。塗装より格段に防錆効果が高いですが、塗装の接着度が若干悪いので、必ず下塗り塗装をします。使用できる下塗り塗料は限られます。塗装工場などに事前に相談してください。

(株)レッキーメタルオーナメント ジャパン

Tel: 048-423-4371 Fax: 048-423-4372

Email: info@lecky.co.jp http://www.lecky.co.jp

※ カタログ記載の数値・イメージと実物は多少の差異がある場合があります。

※ ご注文の際には、必ず在庫と納期をお問合わせください。

※ パーツは無塗装品です。